

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	要望 提案元	掲載日時	掲載期限
001	景観計画策定に向けた景観資源の発掘に関する研究	<p>2023年度糸島市 市民満足度調査では、糸島市のまちづくりにおける重要度について、2位に「豊かな自然を守る環境」(86.0%)、5位に「美しい街並みや良好な住環境」(84.0%)がランクインする等、市民が景観を重要視している点が伺える。さらに、2023年には桜井神社と高祖神社が国の重要文化財に指定され、今後はそれらの歴史的な景観を面的に保全していく取り組みも重要ではないかと考えられる。</p> <p>一方で、雄大な背振山系やのどかな田園風景を背景に、美しい景観を損なうような屋外広告物も存在するため、それらを規制する条例が必要なのではないか。糸島市の景観資源の発掘に関する研究を大学と連携して取り組んでもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を科学的にとらえることができる点</li> <li>・ワークショップ等により、景観資源の発掘が促進される点</li> <li>・学生の若さを生かした新たなアプローチ</li> </ul>	市民個人	令和6年4月1日	令和8年3月31日
002	住民の生活を脅かす野生生物（コウモリ・ヘビ・サルなど）	<p>伊都の杜において、コウモリが家に住みつき、軒先に落ちた糞により、住衛生環境が悪化したり、子どもがコウモリを触らないような対応に苦慮したりしている。</p> <p>また、ヘビの出没により住民自ら退治したり、業者を呼び退治している。</p> <p>サルが庭先に現れ荒らしていくなどの被害が出ている状況にある。</p>	<p>糸島市において、住民の生活を脅かす生物が出現している原因を調査し、それらの生物がもともと生息しているエリアに住める環境が整うことを期待する。</p> <p>家に棲みつくコウモリについては、ハウスメーカーなどに相談しても、なかなか解決できず、苦慮していることから、家に棲みつかないような対策を住民と一緒に検討いただきたい。</p>	市民個人	令和6年4月1日	令和8年3月31日
003	旧糸島郡内の製炭事業に関わる記録調査	<p>昔は、糸島の中山間地域では炭焼き（自然の摂理を利用した持続可能なエネルギーシステム）が行われ、それが生体系保全の力となっていた。現在、高齢化や人口流出により、中山間地域の里山林の維持管理は困難に直面しており、森林が持つ生態系サービスは劣化し、諸問題が生じている。そこで、時代に即した「新たな炭焼き」創造は課題解決の一助になるのではないかと考える。</p> <p>そのために、まずはかつての糸島での製炭に関わる情報（地域特有の製炭方法、道具、場所など）を収集し記録する必要がある。特に、「高度経済成長期のエネルギー革命」前後に労働従事した世代（2つの価値観を体験した世代）の証言記録は喫緊であると思われる。</p>	<p>得られた情報を生かし、時代に即した「新たな炭焼きモデル」を興し、課題解決につなげる。単なる経済的価値だけでなく、生物多様性の保持・防災・獣害減少・癒し効果・障がい者雇用の創出など、持続可能的に里山を利用する。</p>	市民個人	令和6年4月1日	令和8年3月31日